

拠出金名：世界気象機関篤志協力計画拠出金

国際機関等名	世界気象機関 (英文名称・略称) World Meteorological Organization (WMO)					
種 別	国連(事務局)		国連(基金・計画)		国連専門機関	その他
所轄官庁担当局課名	気象庁総務部企画課					
最近3年間の我が国支払額及び拠出率、ODA率						
	金 額				拠出率(%)	ODA率(%)
単 位	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千ドル)	外貨2 (千)	レ ー ト	(注1)	
平成17年度	19,046	178		1\$ = 107円	(2005年) 1.7	100
平成16年度	19,580	178		1\$ = 110円	(2004年) 2.1	100
平成15年度	21,716	178		1\$ = 122円	(2003年) 2.3	100
拠出上位5ヶ国						
	国 名	(注2) 金額(千ドル)	率(%)	国際機関等の財政 (2004-2005年決算)		
1位	米国	1,984	19.5	当該年度の収入 145,253千ドル		
2位	英国	1,791	17.6	当該年度の支出 126,742千ドル		
3位	フランス	1,177	11.6	次年度への繰越 18,510千ドル		
4位	フィンランド	875	8.6	会計検査機関名		
5位	カナダ	868	8.5	National Audit Office		
上記の率及び順位は2005年のもの				(現在の構成員の出身国：英国)		
当該機関に対する我が国としての評価(当該国際機関の政策に対する我が国の意見の反映度を含む)						
世界気象機関(WMO)は、世界の気象事業の調和的な発展を目指し、気象観測・通信・データ処理等の気象業務の基盤に係わる世界的なネットワークを構築するとともに、同機関の枠組みの下、気象業務の発展に資する国際共同研究の推進等、国際的な調整機能を果たしており、我が国の気象業務を推進する上で重要な役割を果たしている。						
合理化、機能強化のための改革が行われているか。 行われている場合はその現状と我が国としての評価						
WMOに設置されている委員会の運営の効率化、ビューローの役割の明確化等、組織全般にわたる見直しについて、WMOの組織に関するタスクチームが設置され、WMOの長期計画を踏まえながら検討を行っており、合理化、機能強化のための改革は着実に進んでいると認識している。						
邦人職員数 うち幹部以上	4人 うち 1人	当該機関の職員数及び 邦人職員が職員全体にし める率		244人 1.6%		
邦人職員が占めている幹部ポスト						
ポストの名称		職 員 氏 名		備 考		
地区活動・技術協力開発部 篤志協力計画担当部長		戸矢 時義				
当該機関重要ポストへの邦人職員送り込みについての具体的な計画						
気象庁長官及び在ジュネーブ国際機関日本政府代表部大使からWMO事務局長に対して、日本人職員のさらなる登用について要請を行っている。						

(注1) 我が国と各国とは会計年度が異なるため、拠出率については暦年(2003年～2005年)。

(注2) 拠出金額には、国によっては二国間の研修活動、観測測器供与と相当分が含まれる。